

## 令和4年度第6回理事会議事録

議事録作成者：事務局長 松谷昌典

- 1 日 時：令和5年3月9日（木） 19：00～24：00
- 2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局  
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16
- 3 出席者（敬称略、順不同）：
  - 【理事】 古城資久、伊差川浩之、三浦重則、高井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、關本正志、田中彰子、花田祥之、実島可斉、杉本好二、菅生桃子  
※理事総数：13名、本日の出席理事12名  
※理事の太田勇吉、は都合により欠席
  - 【監事】 辻 恵、安原 徹  
※監事総数：2名、本日の出席監事2名
  - 【陪席】 鈴木 光（アンチ・ドーピング委員長）  
二宮正晴（技術委員長）  
佐々木陽一（国際副委員長）  
阿久津貴史（アスリート委員長）  
福井浄（佐賀県協会理事長）  
松谷昌典（事務局長）

理事の伊差川浩之、三浦重則、高井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、關本正志、田中彰子、花田祥之、実島可斉、杉本好二、菅生桃子、監事の辻恵、安原徹は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

- 4 開 会  
定刻、古城資久会長（代表理事）が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。
- 5 議 長 古城資久
- 6 議 事

第1号議案：「令和5年度事業計画」の承認

令和5年度事業計画案について検討がなされた。審議の結果、「令和5年度事業計画」は出席理事全員一致で承認された。

第2号議案：「令和5年度収支予算書」の承認

収支相償及び公益事業比率を満たす令和5年度の収支予算書案について検討がなされた。審議の結果、「令和5年度収支予算書」は出席理事全員一致で承認された。

第3号議案：「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」の承認

当期中に資金調達の予定がなく、当期中に重要な設備投資（除却または売却を含む。）の予定がないことを記載した書類の検討がなされた。審議の結果、「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」は出席理事全員一致で承認された。

第4号議案：学識経験者の理事会推薦

役員選任規程第2条第1項第3号に規定する理事会推薦学識経験者について議場に諮られた。

- ・古城資久（着任時満64歳）重任
- ・伊差川浩之（着任時満69歳）重任

審議の結果、古城資久及び伊差川浩之を理事会推薦する案は、出席理事全員一致で承認された。

第5号議案：SBDアパレルとのスポンサード契約について

SBD日本代理店「株式会社 tanosimu」より、JPA及びSBD間のスポンサード契約書が提示され、契約についての検討がなされた。アスリート委員アンケート結果の委員長報告では、回答率は75%であり、選手は各種制約のある契約を結ぶことに反対の立場を示していた。審議の結果、JPAはSBDスポンサード契約をしないこと出席理事全員一致で決議された。

第6号議案：ONI社器具のJPA公認について

ONI社の器具類はIPF公認を取得し、JPA公認取得に向けて必要書類の提出がなされていたが、3月17日至19日の大会で使用するために準備した器具のうち、シャフトに外見上の不備がみつかった。その他のプレート、コンボラックについて不備はなかった。JPAの公認は現品確認をもって行うため、シャフト公認については見送り、九州ブロック保有のザオバ社「ブル」を使用することが議場に諮られた。審議の結果、シャフトについては公認見送り及びその他器具についてJPA公認をする案は、出席理事全員一致で承認された。

第7号議案：理事への大会役員実働に伴う諸謝金支払いについて

3月17日至19日佐賀県基山町で行われるジャパンプラシクパワー大会において、会場準備、審判員等で実働を伴う理事へ諸謝金の支払いが議場に諮られた。支払われる諸謝金は、一人当たり6千円/1日である。対象の理事は、古城会長、伊差川副会長、三浦専務理事、高井常務理事、藤谷理事、寺門理事、花田理事である。審議の結果、当該の理事を除く出席理事全員一致で諸謝金支払いは承認された。

第8号議案：パワースポーツ社との契約について

3月17日至19日佐賀県基山町で行われるジャパンクラシックパワー大会において、補助スタッフに支給するユニフォームについて、伊差川副会長の経営するパワースポーツ社と契約をすることが議場に諮られた。

種類：商品売買契約の締結

目的物：ユニフォームTシャツ（デザイン料を含）

数量：50枚

価格：1枚1,100円、送料2,110円（消費税込）

合計：57,110円

履行期間：3月16日基山町体育館納品

デザイン料が含まれており安価である。審議の結果、伊差川理事を除く出席理事全員一致で承認された。

第9号議案：アスリート委員会提案事項について

アスリート委員会より3つの提案と1つの報告がなされた。

(1) 提案事項

①全国的競技会の大会名称変更について

現在、パワーリフティング競技とベンチプレス競技には、ギア装着が許可された大会冠称に「全日本」が、ノーギア大会には「ジャパン」が付与されている。選手は「全日本」が権威ある大会のイメージであり、大会冠称を「全日本」に統一してほしい旨の要望がなされた。具体的な名称案については一任する内容であったため、理事会において名称案を提示し、アスリート委員会へ意見を求めることとなった。IPF国際大会の名称及び、行政への提出書類の作成を考慮し、以下の名称が理事会により提案された。

- ・全日本パワーリフティング選手権大会（エクイップ部門、クラシック部門）
- ・全日本ベンチプレス選手権大会（エクイップ部門、クラシック部門）

次回理事会までにアスリート委員会から回答を得るものとする。

②日本選手団代表ユニフォームについて

日本代表ユニフォームについて、過去のモデルが使えなくなる場合、購入する選手の負担が増大することから、過去モデルについても使用できるように変更することが議場に諮られた。また、生産中止など止むなくモデル変更する場合も、類似するデザインを用いて、変更後も継続使用を可能にする旨の提案もなされた。IPF会長が式典を重要視している意向も踏まえ、ユニフォームについては以下のような検討がなされた。

- ・すでに現モデルは型番変更が通告されているため、新年度変更に合わせて、モデルサイクルの長い制作会社へ変更する。
- ・新たなモデルサイクルの長いユニフォームを購入する選手へ

半額を補助する。

- ・現在採用している最終バージョンのユニフォームは、モデルチェンジ後しばらくの間は着用を許可する。

審議の結果、恒常的デザインの新ユニフォームを作成すること及び費用の半額補助ならびに、現在バージョンのデザインユニフォームの暫時使用案は出席理事全員一致で承認された。なお、貸与についても検討されたが、貸与案については見送りとなった。

### ③デッドリフトダウン

騒音と振動により体育館の借用困難なケースが出ていることから追加されたデッドリフトダウン時の日本独自ルールに関して、I P Fルール準拠へ戻す提案がなされた。問題の本質となる体育館の床を守り騒音を抑えるという点を解決するには何よりプラットフォームの工夫が必要であるという意見も伝えられた。審議の結果、本件は継続審議となった。

## (2) 報告事項

アスリート委員内部においても、ブロック大会での日本記録公認について、ドーピング検査が常時行われておらず不公平であることから認めないでほしいという意見と、ブロック内で更新のチャンスを奪わないでほしいという選手の声が出ている旨報告がなされた。

### 第10号議案：アンチドーピング講習会日程の承認

アンチドーピング委員長より、WEBによる講習会日程及び大会併催の講習会日程について発表がなされた。審議の結果、アンチドーピング講習会日程について、出席理事全員一致で承認された

### 第11号議案：JADA認定のJPA重要大会の変更依頼について

JADAとJPAにおける重要大会の認識について齟齬がみられ、JADAに意見書を提出することが議場に諮られた。審議の結果、意見書を提出すること出席理事全員一致で承認された。

### 第12号議案：外部雑誌寄稿の年間スケジュールについて

広報委員長より年間スケジュール案が発表された。パワーリフティング競技のスケジュールや選手を紹介する案で、伊差川理事と連携して記事を作成することが主な内容であった。審議の結果、計画案は出席理事全員一致で承認された。

### 第13号議案：JPA表彰の創設について

継続して活躍する選手に対して、優秀選手賞の授与案が検討された。表彰規程には、基準を別途定めることが明記されており、細則等の取り決めが求められている。検討の過程では、「通算10回以上全国大会優勝」を基準とすることが議論された。優秀選手賞授与案は出席理事全員一致で承認され、次回理事会までに受賞基準及び副賞等を定めた表彰規程細則の作成を行うものとする。

### 第14号議案：スポーツフォートゥモローコンソーシアム入会案内について

日本スポーツ振興センター情報国際部より、スポーツフォートゥモローコンソーシアムの活動再会及び再入会の案内が届いていること報告がなされた。東京2020大会のスポーツレガシーを継承・発展させながら、官民連携による国内外のスポーツや社会におけるニーズや課題に向き合い国際交流、協力を行うものである。会費は無料であり、再入会することが検討された。審議の結果、出席理事全員一致で再入会が承認された。

その他議案：(1) 組織委員会人事について

組織委員長より令和5年度組織委員人事の提案がなされた。提案された人事は以下の通り。

- ・副委員長 篠原孝志（福岡県）
- ・委員 伊藤正晃（岩手県）
- ・委員 山川義博（兵庫県）

プロフィール、推薦状が提示され内容の確認がなされた。任命は令和5年6月4日総会後の理事会を予定である。審議の結果、3名の組織委員会人事について、出席理事全員一致で承認された。なお、篠原委員は広報委員にも着任するよう伊差川理事理事より依頼をすることとなった。

(2) 日本グランプリ大会の検討事項について

本会は選手登録の増加傾向が認められ、大会運営のあり方や位置付けについて検討する必要が生じている。クラシックパワー大会の参加者増から、出場標準記録の大幅アップを検討していることや、スポーツ協会よりジャパングームズの考え方が公表されたことなどから、日本グランプリ大会の位置付けを再検討することが議場に諮られた。提案は、マスターズ部門を創設し、各優勝者の欠格期間を1年にするものであった。審議の結果、マスターズ部門の創設については出席理事全員一致で承認された。欠格期間1年とすることについては伊差川理事が3回まで連続可とする意見を述べて反対を表明し、伊差川理事を除く理事が賛成して承認された。なお、マスターズの具体的人数枠は主管協会と相談のうえ次回以降の理事会に諮ることとなった。

(3) 感染症ガイドライン改訂について

令和5年3月13日以降のJPA感染症ガイドラインについて、改訂案が議場に諮られた。内閣官房発出の内容に準じてマスクを任意としつつ、必要な感染症対策を講ずるものである。また、名称を「新型コロナウイルス感染対策の運用ガイドライン」から「感染症対策ガイドライン」へと改めた。審議の結果、感染症対策ガイドライン改訂案は出席理事全員一致で承認された。

(4) 佐賀県ジャパングラシックパワー大会最終予算計画について

最終の予算案が議場に諮られた。参加人数増大による2面開催であり、役員の諸謝金及び旅費が高騰しているための修正である。佐賀県の補助金250万円は認可されたが、本年度キャッシュ

ローを鑑み、総予算7,846千円であることが報告された。審判員及び会場系の諸謝金日額を6千円、補助スタッフ8千円とし、日本スポーツ振興センターの「助成対象経費の基準等」により支給するものとする。審議の結果、最終予算案は出席理事全員一致で承認された。

(5) 標準記録について

佐賀県ジャパンクラシックパワー大会は312名のエントリーであり、次回以降も大会運営の困難が予想されるため、出場標準記録を高めることが議論された。検討の結果、佐賀大会において14名を超える出場がある階級について、当該階級の14位記録を翌年度の標準記録に更新する方法が提案された。本提案が実際に機能するか否か、技術委員長と協議の上、佐賀大会の結果を考慮して検討することとなった。

(6) ビデオ、写真撮影について

大会で撮影される動画や写真について、意図しない使用方法を避けるための方策が議論された。広報戦略上、パワーリフティング大会すべての発信を規制する必要はないが、ハラスメント防止のため、「試技中及び表彰式中の選手や被表彰者を除き、会場内での撮影、録画、録音等は個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲での使用に限ります」の文言をホームページや大会要項において記載して注意喚起することと、JPA配信の二次利用については許可制とし、当面は広報委員会と事務局にて判断することが議場に諮られた。審議の結果、提案事項は出席理事全員一致で承認された。

(7) 国際大会派遣に係る旅行社の選定について

① 4月14日至16日ブラジル連邦共和国サンパウロ市で開催されるアーノルドパワー&ベンチ大会について、エース航空社を選定すること議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

② 5月20日至28日、南アフリカ共和国サンシティ市で開催される世界ベンチプレス選手権大会について、カールズ社を選定すること議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(8) 国民体育大会地元枠について

国民体育大会地元枠の人数設定について、人数は出場総人数及び過去大会から引き継がれているものであり、細則を定めることが検討された。本件、継続審議となった。

## 7. 報告事項

(1) 業務執行理事の自己の職務状況報告

古城資久会長（代表理事）及び、伊差川浩之副会長、三浦重則専務理事、高井隆義常務理事から、それぞれ自己の職務状況について報告が

- なされた。太田勇吉常務理事の職務状況報告は書面の提出がなされており、報告書について承認された。
- (2) 佐賀県スポーツイベント開催支援事業補助金応募の報告  
令和5年2月15日付にて申請、同月16日付で対象事業認定通知を受領した旨、報告がなされた。金額は250万円であり、関係者の250泊が受給の条件である。
- (3) 「2026 F I S Uワールドチャンピオンシップスパワーリフティング大会」の準備進捗報告  
日本オリンピック委員会が日本の大学スポーツ担当であり、F I S U大会については同委員会が中心となって準備が進められている報告がなされた。入札期限は10月である。
- (4) 係争の状況について  
現会長と元専務理事との控訴審について、状況報告がなされた。
- (5) 決算見込みについて  
令和4年度事業は佐賀ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会を残すのみであり、同大会も予算修正を行い、計画通り実施できる見通しが立った。年間の剰余金については収支相償に向けて、特定費用準備資金積立等を行うこと確認がなされた。
- (6) ドーピング検査検体数について  
日本フェアネス推進機構より通知された令和5年度検体数について報告がなされた。
- (7) コーチ1の報告について  
①会場費の利益相反取引について、予定通り執行されたこと報告がなされた。会長の経営する医療法人伯鳳会「はくほう会医療専門学校明石校」へ33,000円が支払われた。  
②講義や受付、会場係を担当する理事への労務諸謝金について、日本スポーツ協会の基準に基づき、予定通り執行されたこと報告がなされた。対象となる理事は、三浦専務理事、田中理事、菅生理理事、実島理事であった。
- (8) 表彰対象者調査の結果報告  
日本スポーツ協会より表彰対象者の推薦依頼がなされており、ブロック長により本会の該当者を調査していた。該当者が見つかり、この度は次年度の推薦に向けて書類整理及び推薦準備を行う旨報告がなされた。
- (9) 日本スポーツ協会評議員継続申請の報告  
日本スポーツ協会評議員推薦時期が到来しており、事務局より引き続き古城会長を推薦したこと報告がなされた。
- (10) 選手等の規範意識向上について  
3月26日(日)に行われる全国選抜高等学校パワーリフティング選手権大会において、マナー、モラル、エチケットの教育を行うこと報告がなされた。
- (11) 次回理事会

令和5年5月11日（木）19時からWEBにて

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は24：00に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長（代表理事）及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和5年3月9日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会 長  
(代表理事)

古城 賢久



監 事

辻 恵



監 事

安原 徹

